

# Q & A 一般質問



一般質問は市政全般にわたり、市長その他執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針等について、所信を質したり、報告や説明を求めるといったものです。

3月定例会でのみ所属3人以上の会派が代表質問(時間50分)を行うことができます。今定例会では2会派が代表質問を行い、4名の議員が個人質問(時間30分)を行いました。

※質問の要旨を質問順に掲載しています。(代表質問は4～5ページ、個人質問は6～7ページに掲載しています)

## 代表質問

大前 寛乗 議員  
市民グループ未来の会



水道事業広域化後の  
かわつ花菖蒲園の維持管理は

**Q** 水道事業の広域化に伴うかわつ花菖蒲園の維持管理や花菖蒲祭の運営はどのようになるのか。

**A** かわつ花菖蒲園は川津浄水場内の一部施設を活用し、花菖蒲等の維持管理が行われています。企業団移管後も従来通り、かわつ花菖蒲園が維持できるように、市長部局と川津浄水場の使用に関する協定書を締結し、香川県広域水道企業団へ承継していく考えです。

(水道局長)

**A** 毎年、多くの方々が見物に来られており、本市の観光スポットのひとつになっていることから、企業団移管後も花菖蒲の維持管理は、引き続きにぎわい室で行うとともに、地元自治会などで組織される実行委員会が主催の花菖蒲祭、花菖蒲茶会についてもにぎわい室で担当します。

(建設経済部長)



学校給食調理場の  
今後の方針は

**Q** 学校給食調理場のあり方及び整備等の方向性について、庁内検討委員会を開催し、議論を重ねたことだが、その主な内容とどのような検討結果になったのか。

**A** これまでに3回開催した検討委員会での議論の内容は、施設・設備の老朽化も進む中での改修・修繕費用の増加、学校給食衛生管理基準を満たす機能面の整備、退職者不補充の方針による調理業務の民間委託の推進による委託費用の高騰などが挙げられ、解決方法を検討した結果、個々の調理場を維持するのではなく、新たに共同調理場を新設して運営していくことが効率的であり、有効な方法であるとの結論に至りました。

また、新年度予算において、学校給食共同調理場整備検討業務委託料を計上しており、業務委託の結果を踏まえ、早期建設を目指していきたいと考えています。

(教育部長)

市民ホールの休館に伴う  
代替施設は

**Q** 昭和49年から成人式や各種行事の開催などで市民ホールが、平成31年3月末をもって休館することによる影響は多大なものであると思われるが、代替施設についての考えは。

**A** 本市の公的既存施設において代替施設になりうる施設を想定したところ、研修や式典等については、約200名から300名程度の来場者数であれば、市民ふれあい会館や勤労福祉センターが可能であると考えており、音楽関係や舞踏関係については、約300名程度であれば沙弥島万葉会館において、演目内容により可能であると考えています。

しかし、事業内容や来場者数によっては、利用団体がその利用の目的や内容に応じて、民間施設や、市外の近隣施設等の利用を判断していただくことになると考えています。

本市にある公的既存施設等での代替が可能となるようその手立てについて、早急に講じていきたいと考えています。

(教育部長)

### 質問の項目

- ・市長の政治姿勢について
- ・ランドデザインについて
- ・都市間交流について
- ・健康・福祉の充実について など